



2023年3月期 第1四半期 連結決算説明資料

2022年7月29日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“Q”及び“F”を用いております。2023年3月期第1四半期は“22Q1”、2023年3月期は“22F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

1.2023年3月期第1四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2023年3月期第1四半期 決算概要

B&P・ヘルスケア・V&Sの販売が好調に推移 アミューズメントの減収により減収減益

□ 売上高:178.4億円(前年同期比 ▲53.0億円)

■ アミューズメント:11.5億円(同 ▲71.0億円)

前期に集中した入替需要の反動減による

■ B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S:154.2億円(同 +16.0億円)

国内外の強い需要に対して製品供給が満たせない状況となっていたものの、100%自社開発・生産による機動的な挽回生産を実施し徐々に製品供給を回復、販売増円安も売上高増加に寄与

□ 営業利益:8.7億円(前年同期比 ▲31.6億円)

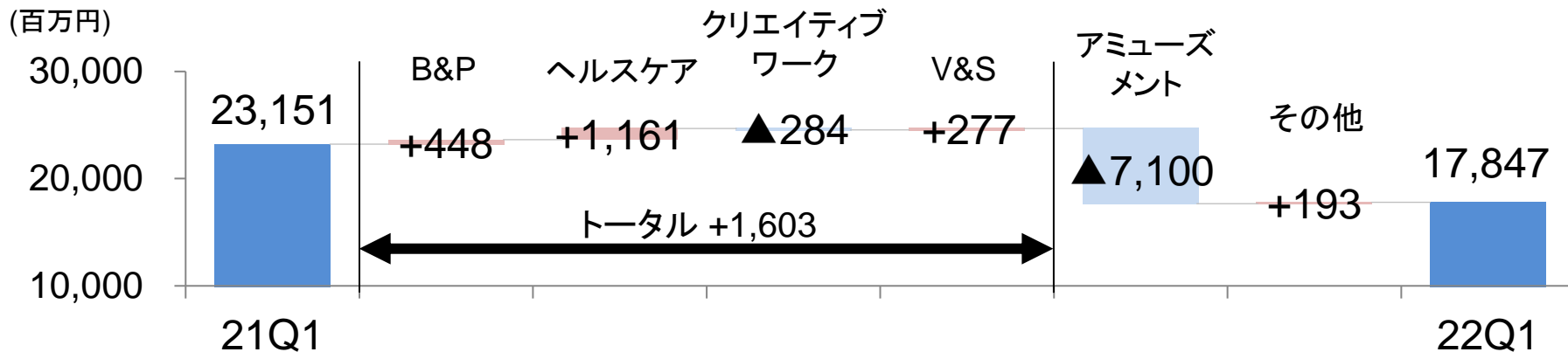
■ 売上総利益: 材料費の上昇に対応して販売価格への転嫁を進めてきたものの、アミューズメントの売上高の減少及びドル高によるコスト増の影響により減益

連結損益計算書

(百万円)

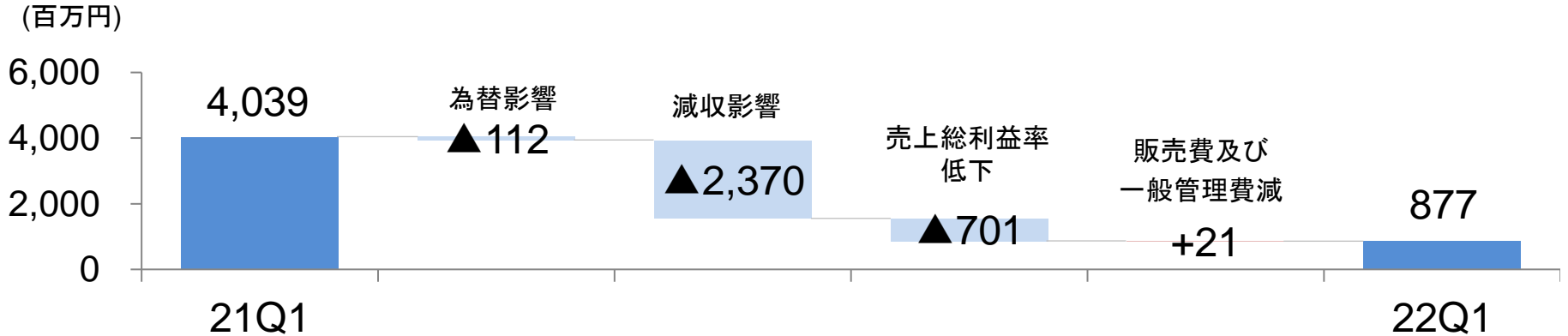
	21Q1	22Q1	前年同期比
売上高	23,151	17,847	77.1%
売上総利益	8,890	5,706	64.2%
売上総利益率	38.4%	32.0%	▲6.4pt
販売費及び一般管理費	4,850	4,828	99.6%
営業利益	4,039	877	21.7%
営業利益率	17.4%	4.9%	▲12.5pt
経常利益	4,579	1,258	27.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,166	1,383	43.7%
為替レート(四半期平均):USD	109.52円	129.73円	+20.21円
為替レート(四半期平均):EUR	131.94円	138.26円	+6.32円

売上高増減要因



- B&P: 依然として強い需要に対し、一部モデルで十分に供給できない状況であったものの、徐々に挽回生産の効果を得て増収
- ヘルスケア: 国内外で販売が堅調に推移
- クリエイティブワーク: 新機種の本格的な発売が22Q2にスライドし十分な供給ができず、国内外ともに販売減
- V&S: 海外での監視用途向けの販売、国内での航空管制向け・船舶用途向けの販売が増加
- アミューズメント: 新規則機への入替需要の反動減により大幅減収
- その他: アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加

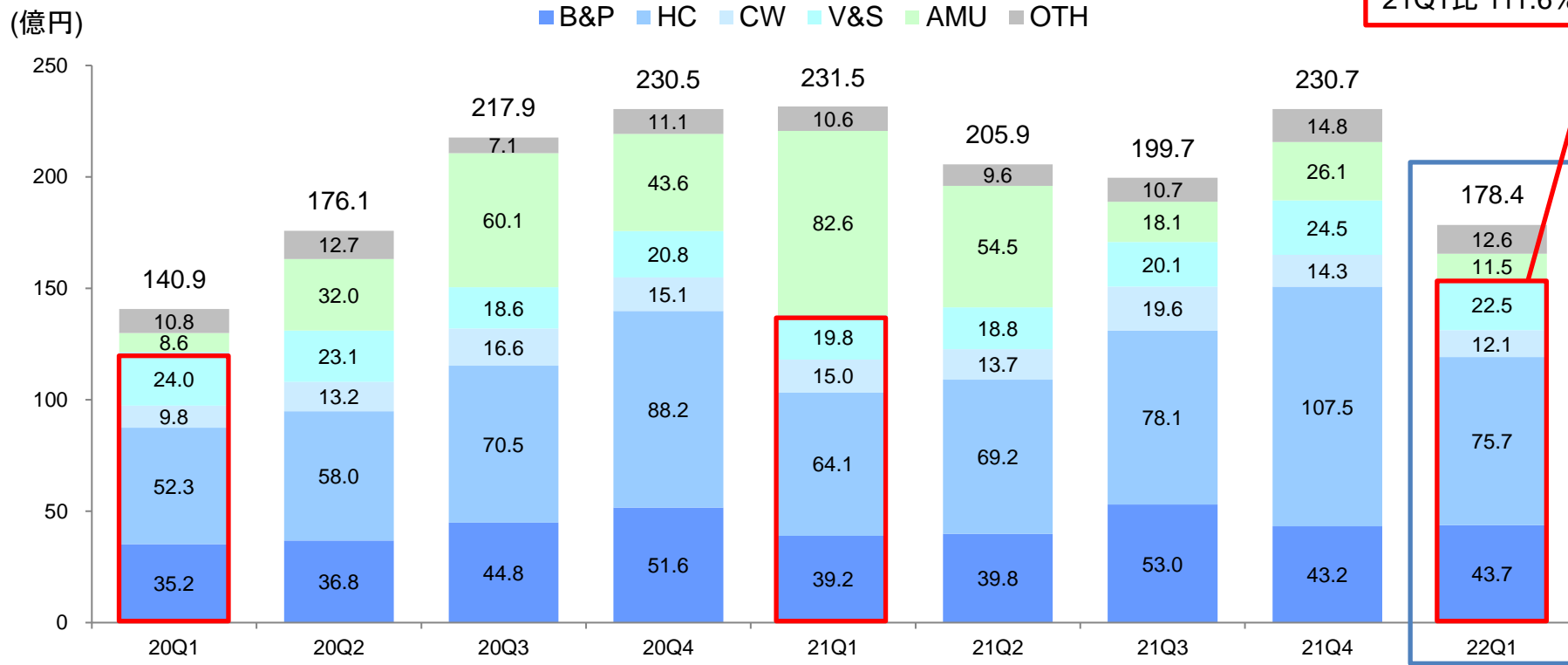
営業利益増減要因



- 為替影響：円安により増収効果をもたらした一方、ドル高によるコスト増が減益方向に作用
- 減収影響/売上総利益率の低下：主にアミューズメントの減収による
- 販売費及び一般管理費の減少：費用を適切にコントロールし、前年同期並み

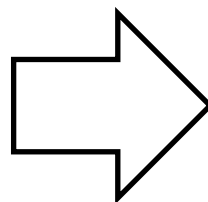
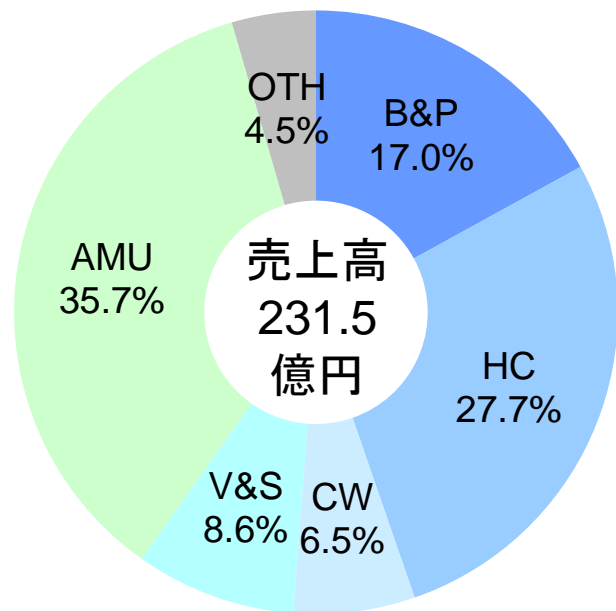
市場別売上高推移

B&P/HC/CW/V&S
トータル
21Q1比 111.6%

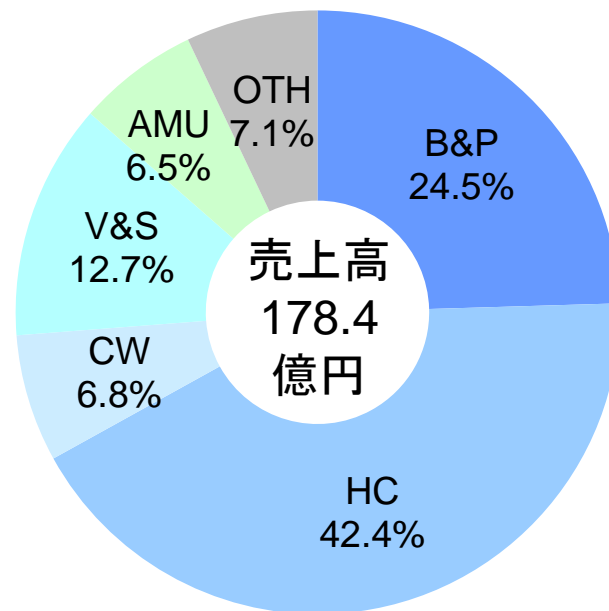


市場別売上高構成比

21Q1

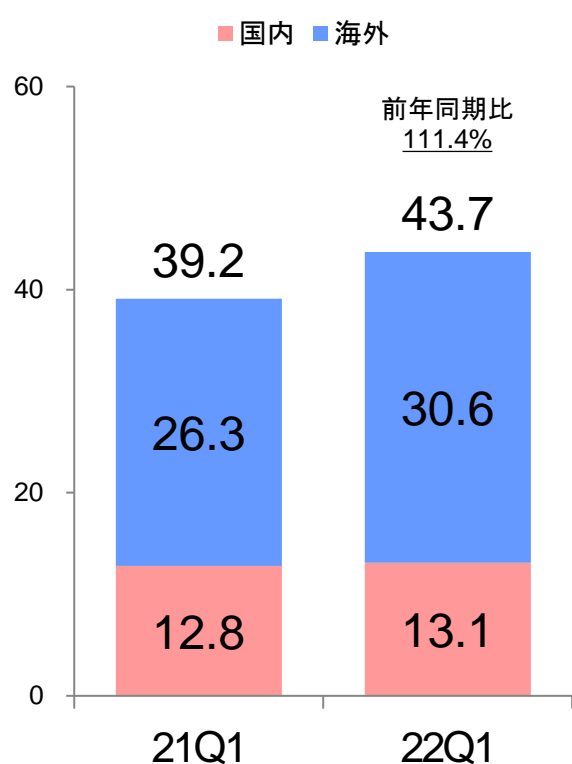


22Q1



市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)



海外

□ 依然として強い需要に対し、一部モデルで供給が満たせない状況となっていたものの、徐々に挽回生産の効果を得て、好調な販売

国内

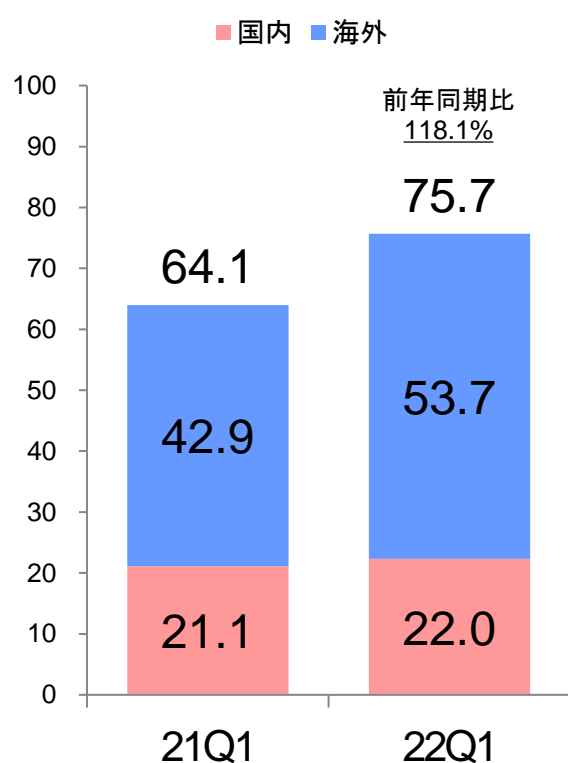
□ 法人需要が強く、販売堅調



FlexScan EV2781

市場別売上高：ヘルスケア

(億円)



診断用途

- 海外では、欧州での販売が堅調に推移
- 国内では、前期からの設備投資需要が継続、堅調な販売

手術室用途

- COVID-19の影響やIT機器の供給問題により設備更新需要が後ろ倒しとなり、販売が減少

内視鏡用途

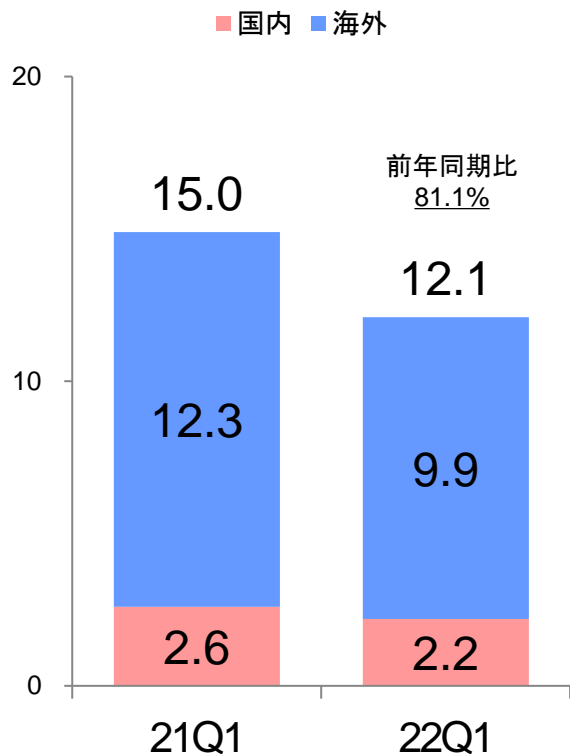
- 中国ではCOVID-19によるロックダウンの影響を受けたものの欧米・日本での販売が増加



CuratOR EX3242-3D / EX3242

市場別売上高:クリエイティブワーク

(億円)



□ 前期に引き続き堅調な需要はあったものの、新機種の本格的な発売が22Q2へスライドしたことで十分な供給ができず、国内外ともに販売減少

海外

□ 欧州での販売が減少

国内

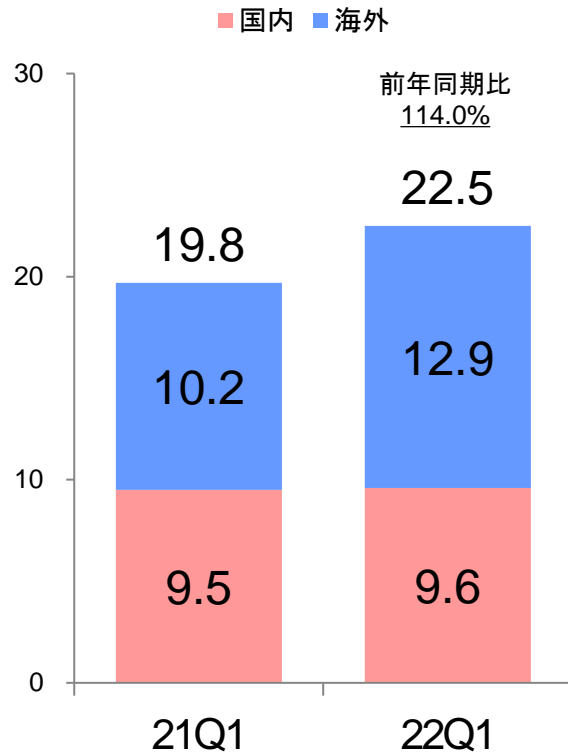
□ CGシリーズを中心に販売が減少



ColorEdge® CG2700X / CG2700S

市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)



航空管制用途

□ 国内での販売が増加

船舶用途

□ 新規造船需要もあり国内販売復調

セキュリティ・監視用途

□ 北米で、EVS(EIZO Visual Systems)として展開する監視用途向けソリューションの導入が進み、好調な販売

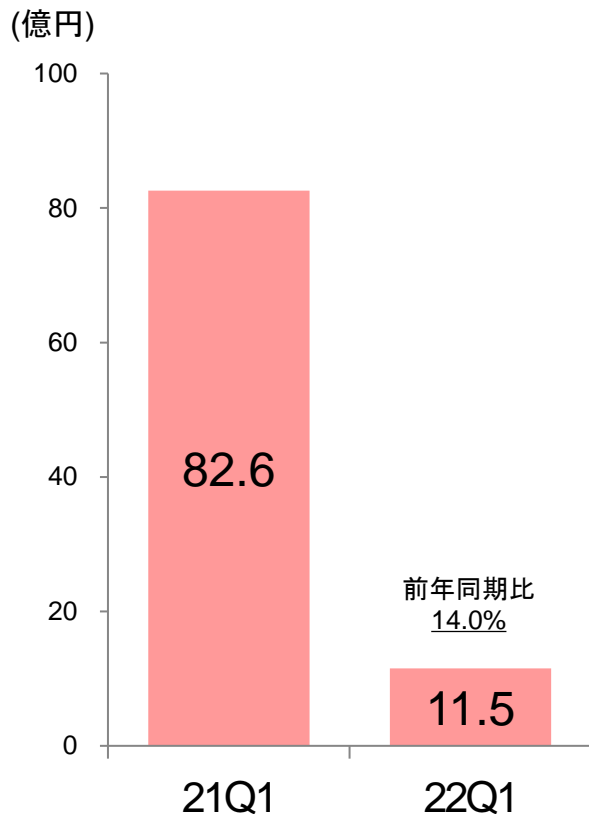
その他

- 国内では、顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売減少
- 海外では、COVID-19による影響を受けていた自動車産業を始め各種産業向けの販売が徐々に回復



DuraVision FDF2382WT-A

市場別売上高：アミューズメント



- 前期に集中した新規則機への入替需要の反動減により前年同期を大きく下回る売上高
- 規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	22年3月末	22年6月末	増減
流動資産	80,510	81,589	+1,079
現預金	13,887	14,414	+526
売掛金等 ※	24,814	18,980	▲5,833
棚卸資産	31,749	37,880	+6,130
有形固定資産	20,173	20,453	+280
無形固定資産	841	835	▲6
投資その他の資産	53,933	51,353	▲2,580
資産合計	155,459	154,232	▲1,227
流動負債	20,726	21,174	+448
固定負債	16,150	15,697	▲452
純資産	118,582	117,359	▲1,222
負債純資産合計	155,459	154,232	▲1,227

棚卸資産

原材料在庫の増強及び
挽回生産による製品在庫の回復

投資その他の資産

投資有価証券の売却及び時価下落による

純資産

自己株式の取得による

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

1.2023年3月期第1四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

2023年3月期 業績の見通し

(百万円)

	21F	22F計画	前期比
売上高	86,789	86,000	99.1%
売上総利益	30,859	29,000	94.0%
売上総利益率	35.6%	33.7%	▲1.8pt
販売費及び一般管理費	19,560	21,000	107.4%
営業利益	11,299	8,000	70.8%
営業利益率	13.0%	9.3%	▲3.7pt
経常利益	12,110	9,000	74.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,794	6,300	80.8%
為替レート(年平均):USD	112.39円	130.00円	+17.61円
為替レート(年平均):EUR	130.55円	138.00円	+7.45円
ROA	7.9%	-	-
ROE	6.7%	-	-

2022年5月11日公表値より変更なし

連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

- USD: ▲120百万円
- EUR: +170百万円

トピック①

TCFD提言に基づく情報を開示

2021年5月 TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明

2021年10月 TCFD提言に基づいた初回情報開示

当社事業活動に影響を及ぼすリスク及び機会の抽出・評価、対応策の設定

2022年5月 **TCFDの4つの開示要求項目(ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標)に沿った情報を開示**

シナリオ分析

気候変動に関連するリスク及び機会について、2つのシナリオを用い分析

財務分析

シナリオ分析の結果が当社事業にどの程度影響を及ぼすのか分析

指標と目標の設定

財務分析の結果を踏まえ指標と目標を設定

脱炭素社会の実現に向けて今後もより一層取組みを強化

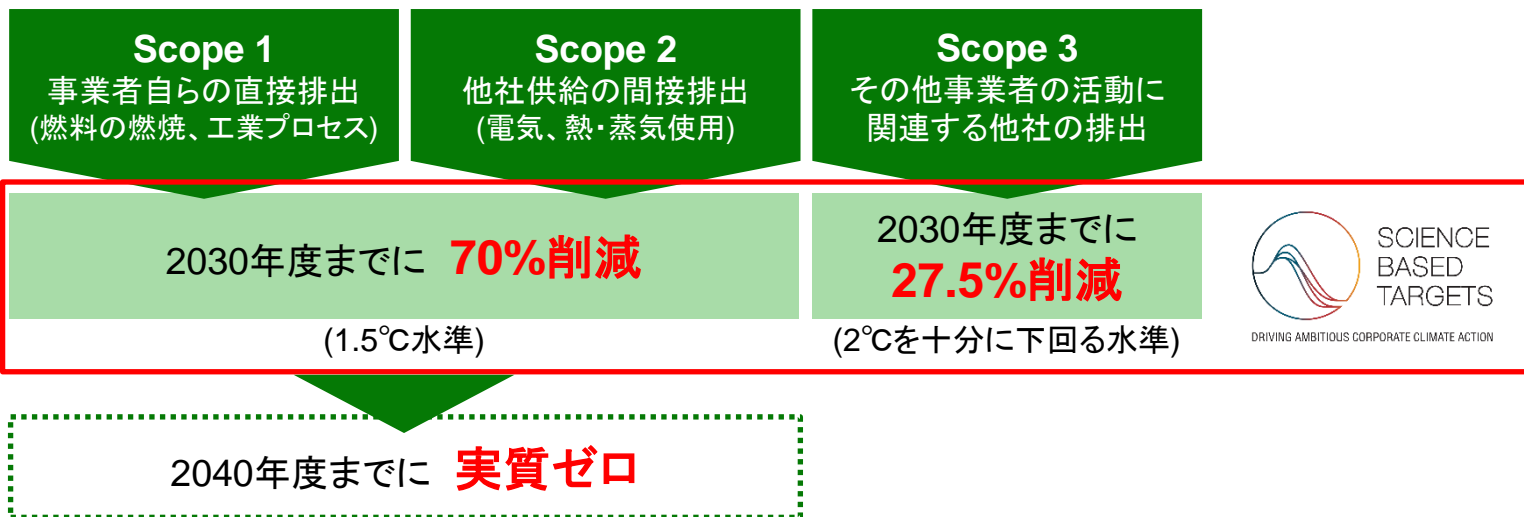
- 中長期事業計画にリスク及び機会を反映
- 指標と目標の達成に向けた取組みの検討・推進

トピック②

EIZOのGHG削減目標がSBT認定を取得

□ 2030年に向けたGHG(温室効果ガス)削減目標がSBT認定(*)を取得

*パリ協定が求める水準(気温上昇を産業革命前より1.5℃未満または2℃を十分に下回る水準に抑えることを目指す)と整合した、企業が設定するGHG排出削減目標であることの認定



当社の
GHG削減目標
※基準: 2019年度

2030年度までに **70%削減**
(1.5℃水準)

2030年度までに
27.5%削減
(2℃を十分に下回る水準)



2040年度までに **実質ゼロ**

トピック③

サステナブルな製品づくりに向けた取組みを推進 FlexScanシリーズ6機種種の梱包材に再生紙素材を採用

- FlexScanシリーズ6機種種(新製品2機種種、販売中の4機種種)の梱包材に環境負荷を低減する再生紙素材(段ボール・パルプモールド)を採用
 - 従来の発泡スチロール素材による梱包材と比較して、最大で約21%のCO2排出量を削減(※27型のEV2795の場合)

環境に配慮した製品づくりに向けた取組みの一例

(主にFlexScan EVシリーズにおける取組み)

- 製品の省エネ機能の充実 (使用時の消費電力を自動で抑える機能等)
- 再生プラスチックの使用
- 付属品のケーブル類は必要な分のみとし、廃棄を削減
- 最新の環境規格への適合 (TCO Certified、Energy STAR8.0、PCグリーンラベル他)



トピック④

導入事例

緊急通報ダイヤルのオペレーション用途に採用
EIZOの高機能・高信頼性が決め手に



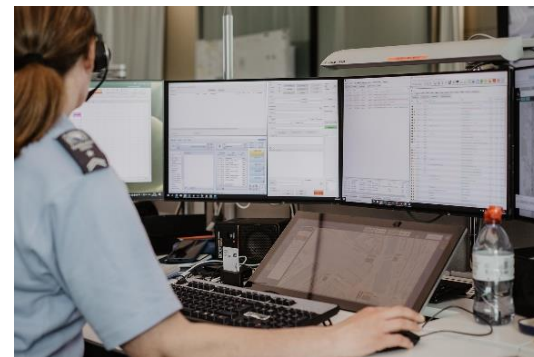
■ Zurich Municipal Police(スイス)が
緊急通報ダイヤルのオペレーション用途として
FlexScan EV2456を採用

年間17万件に及ぶ
チューリッヒ中の通報を
オペレーション

- ◆ 常時稼働に耐える高信頼性
- ◆ 5年間の長期保証

オペレーター1人につき5台
マルチモニター環境

- ◆ 重要な内容を見逃さない
デザイン・機能を搭載
(フレームレスデザイン、広い視野角、
疲れ目防止機能など)



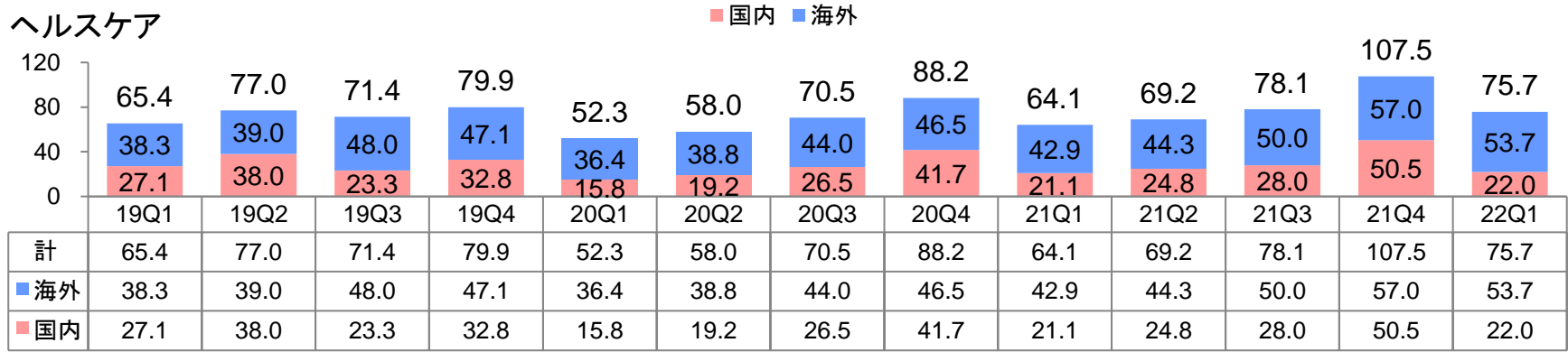
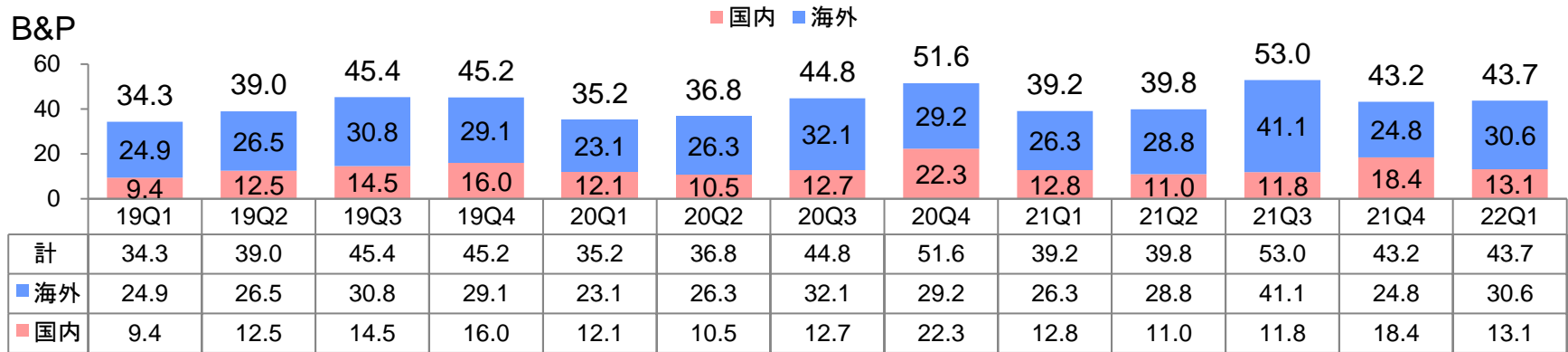
1.2023年3月期第1四半期決算

2.業績の見通し / 事業上のトピック

3.参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)



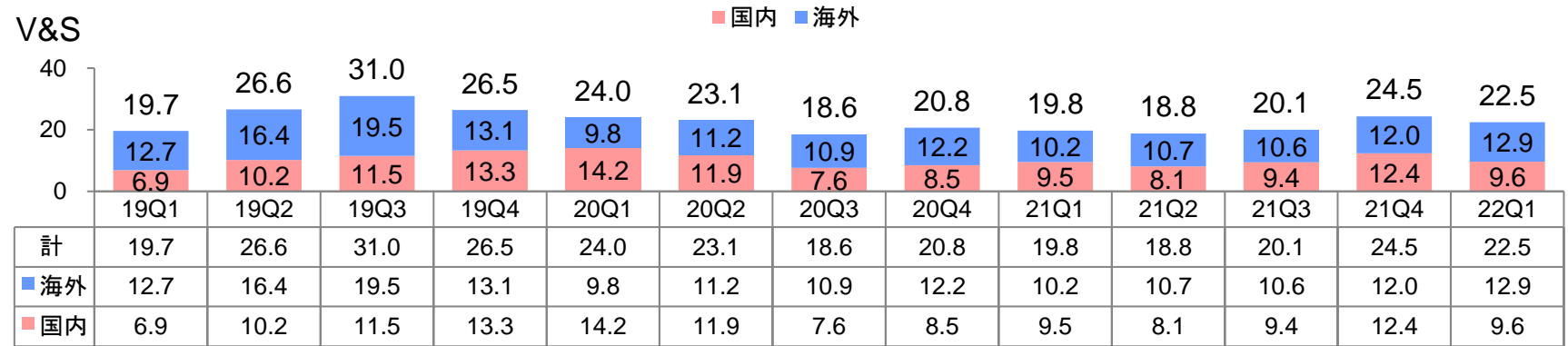
市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

クリエイティブワーク



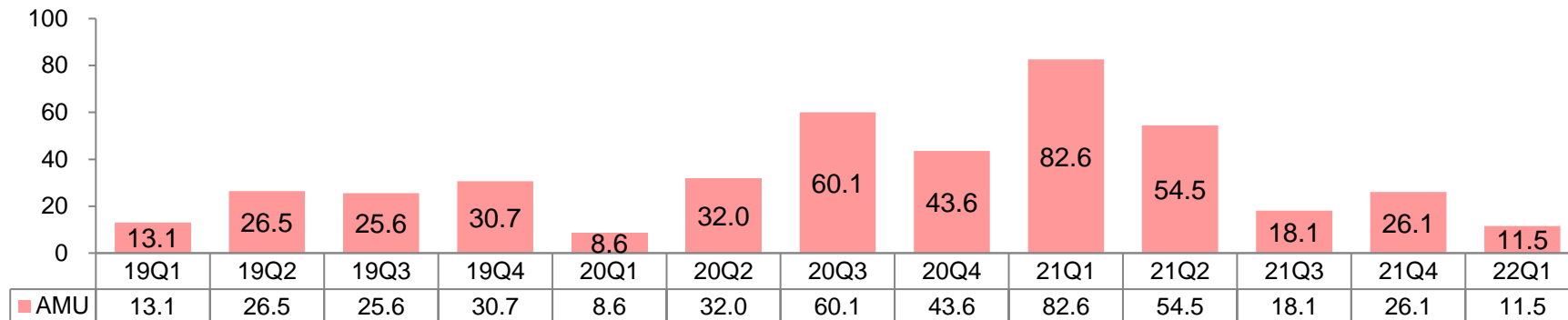
V&S



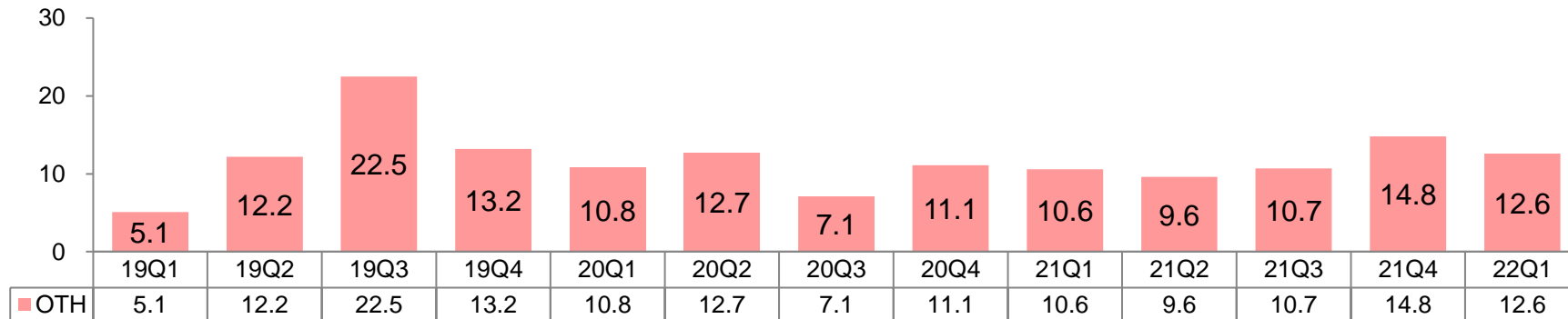
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

アミューズメント

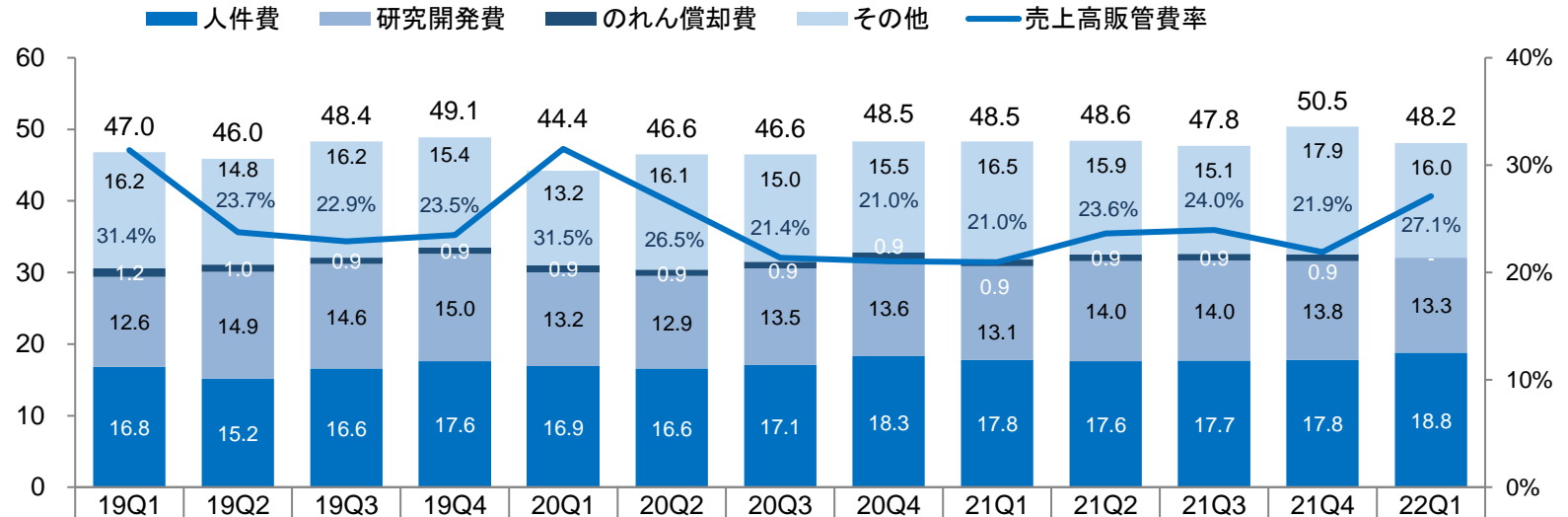


その他



販売費及び一般管理費推移

(億円)



計	47.0	46.0	48.4	49.1	44.4	46.6	46.6	48.5	48.5	48.6	47.8	50.5	48.2
その他	16.2	14.8	16.2	15.4	13.2	16.1	15.0	15.5	16.5	15.9	15.1	17.9	16.0
のれん償却費	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	-
研究開発費	12.6	14.9	14.6	15.0	13.2	12.9	13.5	13.6	13.1	14.0	14.0	13.8	13.3
人件費	16.8	15.2	16.6	17.6	16.9	16.6	17.1	18.3	17.8	17.6	17.7	17.8	18.8
売上高販管費率	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%	31.5%	26.5%	21.4%	21.0%	21.0%	23.6%	24.0%	21.9%	27.1%



Visit us online
www.eizo.co.jp